

## スーパーマーケット販売統計調査 ～ 2024年3月実績（速報版）、2024年2月実績（確報版）～

（一社）全国スーパーマーケット協会、（一社）日本スーパーマーケット協会、オール日本スーパーマーケット協会の三団体は、「スーパーマーケット販売統計調査」2024年3月実績速報値等を発表した。

### ■ 2024年3月実績【速報版】

	構成比	前年同月比 (全 店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	100.0%	106.3%	105.2%
食品合計	92.2%	106.6%	105.3%
生鮮3部門合計	34.4%	106.1%	104.8%
農産	14.0%	106.6%	105.4%
水産	8.7%	106.3%	105.0%
畜産	11.6%	105.3%	103.9%
惣菜	11.0%	104.5%	103.0%
日配	20.4%	106.9%	105.7%
一般食品	26.5%	108.1%	106.8%
非食品	5.6%	103.7%	103.2%
その他	2.1%	104.1%	103.4%

### ■ エリア別集計

エリア	集計対象 企業数	前年同月比 (全 店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北	43	106.8%	105.9%
関東地方	73	106.9%	106.0%
中部地方	53	107.2%	105.1%
近畿地方	44	104.1%	103.1%
中国・四国	34	106.9%	105.3%
九州・沖縄	23	105.7%	104.7%

### ■ 保有店舗数別集計

保有店舗数	集計対象 企業数	前年同月比 (全 店)	前年同月比 (既存店)
1～3店舗	45	99.7%	101.8%
4～10店舗	86	103.4%	103.3%
11～25店舗	48	104.8%	105.1%
26～50店舗	45	106.1%	104.9%
51店舗以上	46	106.8%	105.4%

集計企業数(社)	270
総店舗数(店舗)	8,375
総売場面積(m <sup>2</sup> )	13,973,803
既存店総売上高(万円)	102,601,215
店舗平均月商(万円)	12,437
売場1m <sup>2</sup> あたりの売上高(万円)	7.5

### ■ 2024年2月実績【確報版】

	構成比	前年同月比 (全 店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	100.0%	106.1%	105.1%
食品合計	92.3%	106.4%	105.4%
生鮮3部門合計	34.0%	105.5%	104.4%
農産	13.6%	105.9%	104.9%
水産	8.5%	106.4%	105.4%
畜産	11.8%	104.3%	103.2%
惣菜	11.3%	106.6%	105.4%
日配	20.5%	107.3%	106.2%
一般食品	26.5%	106.9%	105.9%
非食品	5.7%	103.1%	102.7%
その他	2.0%	102.8%	101.7%

### ■ エリア別集計

エリア	集計対象 企業数	前年同月比 (全 店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北	43	106.4%	105.8%
関東地方	73	107.1%	106.1%
中部地方	53	107.4%	105.2%
近畿地方	44	103.6%	102.7%
中国・四国	34	106.3%	105.3%
九州・沖縄	23	105.1%	105.3%

### ■ 保有店舗数別集計

保有店舗数	集計対象 企業数	前年同月比 (全 店)	前年同月比 (既存店)
1～3店舗	44	100.4%	102.5%
4～10店舗	86	103.0%	103.0%
11～25店舗	48	105.1%	105.3%
26～50店舗	47	106.4%	105.1%
51店舗以上	45	106.3%	105.2%

集計企業数(社)	270
総店舗数(店舗)	8,380
総売場面積(m <sup>2</sup> )	13,984,279
既存店総売上高(万円)	94,987,935
店舗平均月商(万円)	11,591
売場1m <sup>2</sup> あたりの売上高(万円)	6.9

※売上高は税抜金額。 ※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入。

2024年3月の総売上高前年同月比（速報値）は全店106.3%、既存店105.2%となった。

3月実績のキーワードは、①前年より低い気温 ②休日が前年より2日多い ③ハレの日需要好調、花見時期のずれ。

3月は土日の日数が前年より1日ずつ多い曜日めぐりとなった。気温の低下による生育遅れで青果相場が高騰、水産も入荷減で相場が高くなったものの販売数量は堅調に推移し好調。節約志向による内食需要に加え、気温が前年より低くホット商材が好調の日配や一般食品が堅調な動向を見せた。花見時期が当初の予想よりも遅れ、酒類や惣菜などで大きな影響を受けたというコメントも多い。そのようなことも影響してか、惣菜のプラス幅が小さい。なお、単価上昇の一方で、客数減という傾向が今月も継続している。

#### 【農産】好調

青果は、冷え込みによる生育遅れにより相場は高値傾向で推移。前月同様、土物類が前年相場安の反動で単価増も加わり好調となった。気温が低下した地域が多く、鍋関連商材の動きがよかった。サラダ関連は気温の状況により好不調が分かれた。国産果実は全般的にやや相場高傾向が続くなか、柑橘類、イチゴが好調とする店舗が多く、輸入果物ではバナナやキウイフルーツ、ブドウの動きがよかった。

#### 【水産】好調

水産は、天候により入荷不足、相場高の地域もある一方で、旬のホタルイカをはじめ相場が下がった魚種も多く、好調となった。マグロ、ブリ、サーモンなどの刺身類が販売しやすい価格で好調に推移し、ひな祭り関連商材も好調。気温が前年より低く推移したことで、鍋関連商材の動きがよかったとのコメントもみられた。高値で推移したうなぎ類は不調とする店舗が多い。

#### 【畜産】やや好調

精肉は、前月同様に、価格が安定している豚肉や鶏肉への需要シフトが継続しているものの、全体的に前年に比べ相場に落ち着きがみられ、販売は好調。豚肉は国産相場が安定し、普段使いの商材を中心に売上が回復。前年鳥インフルエンザからの反動もあり、鶏肉も引き続き好調。前年より気温が低く、鍋関連の需要の動きがよかった。国産牛肉はハレの日を中心に回復傾向がみられたが、輸入牛は価格が高

騰しており動きが鈍い。加工品は値上げの影響で不振とする店舗が多い。

#### 【惣菜】やや好調

惣菜は、ひな祭りに関連したちらし寿司などは概ね好調だったものの、寿司類全般では低い気温により伸び悩んだとの声が多い。一方で麺類などのホットメニューの動きがよかった。焼鳥などおつまみ関連は花見時期のズレによる影響もあった。揚物類や単価が上昇している米飯類、おかず類の好調は継続。また、パン類も比較的好調となった。新メニューやイベントの開催により、成果をあげた店舗がみられる一方で、人手不足により製造や開発などの対応が遅れているとのコメントもみられた。

#### 【日配】好調

日配は、値上げの影響により単価上昇が続く一方で、買上点数は増加傾向がみられ、好調が継続。乳製品やパン類は価格改定後も堅調な動向を維持し、引き続き乳酸菌飲料の動きがよい。気温が低下しホット商材が好調となった。鶏卵は、やや相場高が継続し売上が伸長した店舗が多い。冷凍食品、納豆や豆腐など、ベーシックな商品群が堅調に推移した。

#### 【一般食品】好調

一般食品は、全般的に販売価格上昇による単価増が続くなか、点数が増加している店舗もみられるなど好調なコメントが多い。気温が低く推移した地域が多く、ホットメニュー関連が好調に推移した一方で、飲料類は伸び悩んだ。食用油は値上げの影響が一巡し回復傾向がみられ、調味料は前月同様に堅調に推移した。米類は好不調の判断が分かれた。菓子類は好調だが価格競争の厳しさを指摘するコメントが多くみられた。

#### 【非食品】やや好調

非食品は、単価が上昇した紙製品が引き続き好調に推移。ペットフード、ラップやホイルなども単価上昇で好調とのコメントが多い。一方で衛生用品は需要低下傾向が継続。家庭用洗剤は単価が上昇した一方、競合店との価格競争の厳しさを指摘するコメントがみられた。地震に対する備えとして、電池やガスボンベなどの備蓄品の動きがよい地域もみられた。また、気温の低下により冬物関連が好調となった店舗もみられた。